

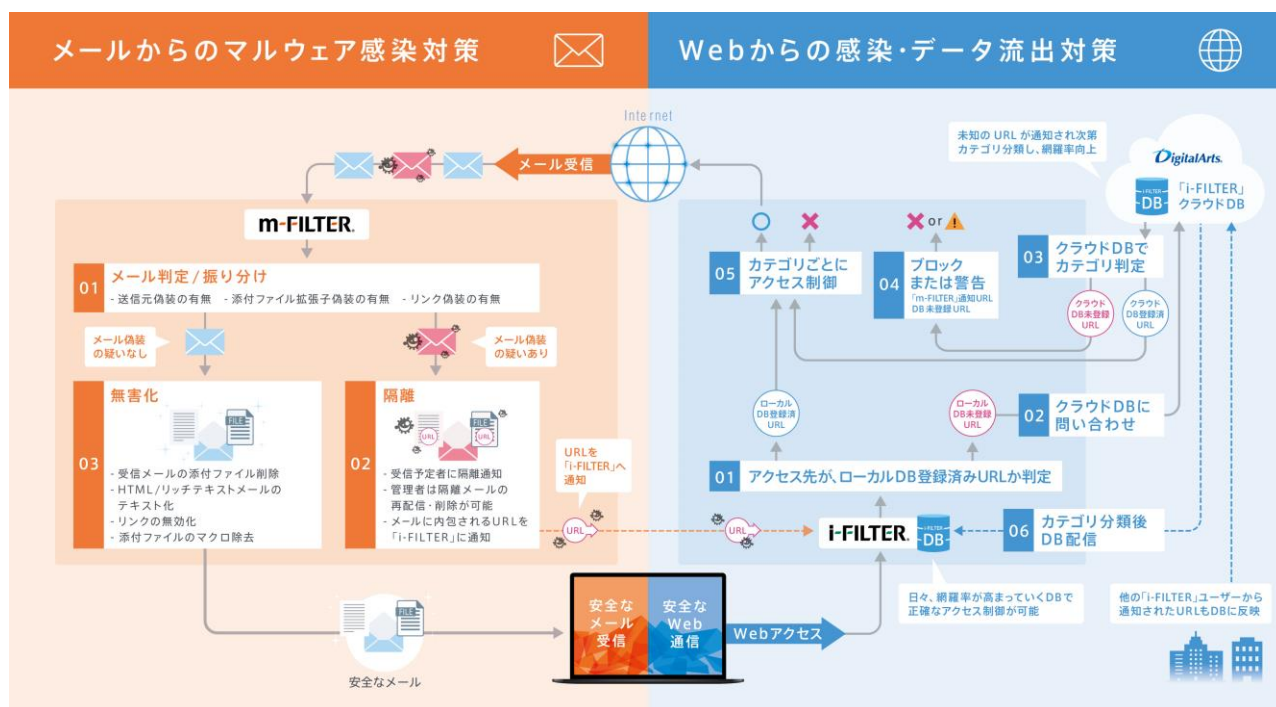
次期バージョンの「i-FILTER®」「m-FILTER®」両製品の導入で クライアント端末の標的型攻撃対策が可能に 2017 年 9 月 19 日より提供開始

～両製品の導入で Web からの感染・データ流出とメールからのマルウェア感染対策が
より強固に、過剰な多層防御や教育費用削減も実現～

デジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下 デジタルアーツ、証券コード 2326)は、情報漏洩防止と内部統制を推進する Web セキュリティ「i-FILTER(アイフィルタ)」と誤送信対策からメール無害化まで可能なメールセキュリティ「m-FILTER(エムフィルタ)」において、クライアント端末を狙う標的型攻撃対策機能を大幅に強化し、「i-FILTER」Ver.10 と「m-FILTER」Ver.5 として 2017 年 9 月 19 日に提供開始いたします。

昨今、企業・官公庁を狙った標的型攻撃の手口がより複雑化・高度化しており、複数のセキュリティ製品を組み合わせた多層防御で対応しても次々と新たな手口で侵入され、企業規模や業種を問わず、個人情報や機密情報を持ち出されるなどの被害が後を絶ちません。また、従業員の教育や組織をあげての訓練も重要視されておりますが、その対策の手間やコストが膨らむ一方です。

そこで、多くの企業・官公庁が抱える標的型攻撃対策における課題に対し、次期バージョンの Web セキュリティ「i-FILTER」とメールセキュリティ「m-FILTER」の両製品をセットで導入いただくことで、Web とメールからのマルウェア感染やデータ流出対策がより強固になり、多層防御対策費用や従業員の教育費用の削減を実現いたします。



〈「m-FILTER」と「i-FILTER」のミッションイメージ〉

PRESS RELEASE

標的型攻撃の98%※1はメールから感染すると言われているため、「m-FILTER」Ver.5では、メール送信元・添付ファイル・リンクの偽装判定と隔離、添付ファイルやHTMLメールに仕込まれた不正コード、悪質なサイトへの誘導を無害化し、安全なメールを受信できるようにいたします。また、メール本文や添付ファイル内から誘導する悪質なサイトのURLは「i-FILTER」のデータベースに登録され、即時にブロックされます。

残りの2%※2にあたるマルウェア感染源となる悪意あるWebサイトへのアクセスやファイルのダウンロードサイトなどへのアクセス制御が重要になります。まず、「i-FILTER」Ver.10では、従来からのWebフィルタリングデータベースの収集方法を見直し、検索可能なWebサイトを全てカテゴリ登録することで、Webフィルタリングの網羅率をほぼ100%に引き上げます。また、流出の経路となるC&Cサーバーの隠れ先としてよく利用されるダークネット※3やDeep Web※4は検索サイトで検索できないため、「i-FILTER」のデータベースには登録されません。この仕組みを利用し、今後は、「i-FILTER」で管理されていない(カテゴリ分けされていない)Webサイトへのアクセスについては、警告またはブロックをするという運用をしていただくことで標的型攻撃を防ぐことが可能です。

次期バージョンアップする両製品を導入することで、過剰な多層防御の費用や管理工数を大幅に抑えることができ、3,000名規模の企業においては約40%、20,000名規模の企業においては約80%のコスト削減が実現します。

デジタルアーツは、今後ますます脅威となる標的型攻撃における防御・対応ソリューションをより迅速に、広範囲にご提供し、これからもインターネット社会に対して安心と安全を提供すべく、更なる製品満足度向上を目指してまいります。

※1 IPA「標的型攻撃の脅威と対策」より抜粋。

※2 その他、USBメモリなどの記憶媒体からの感染は運用ポリシーでカバー。

※3 IPアドレスに対してホスト名が割り当てられていないアドレス空間。

※4 検索サイトで検索できないサイト。別名、深層Web。

【「i-FILTER」と「m-FILTER」の連携紹介ページ】

<http://www.daj.jp/bs/lp/i10m5/>

以上

■ 「i-FILTER」について <http://www.daj.jp/bs/i-filter/>

「i-FILTER」は、情報漏洩対策とWebの有効利用のための企業向けWebフィルタリングソフトです。国内におけるWebフィルタリングソフトのベンダー別売上金額シェア(2015年度)においてNo.1を獲得しました(2016年6月 株式会社アイ・ティ・アール発行「ITR Market View:サイバー・セキュリティ対策市場2016」)。業界最大級のWebフィルタリングデータベースと、特許を取得したフィルタリングテクノロジー「ZBRAIN」により、業務中の閲覧が不適切なWebサイトを高い精度で遮断します。また、Webメールの利用や掲示板の書き込みなどといった、Web経由の情報漏洩を防ぐとともに、その内容を記録・確認・保存することが可能なため、内部統制対策としても有効なソリューションです。「i-FILTER」は、全国の企業・官公庁や教育機関に導入され、圧倒的な導入実績を誇ります。

■ 「m-FILTER」について <http://www.daj.jp/bs/mf/>

「m-FILTER」は、電子メールによる情報漏洩・監査要求・年々増加するスパムメールといった課題に対応した、企業・官公庁・自治体様向けのゲートウェイ型電子メールセキュリティソフトです。

「m-FILTER」では、社内外宛先別の時間差配送や、添付ファイル自動暗号化・上長承認等の多彩な誤送信対策を標準機能で実現する「m-FILTER MailFilter」、リアルタイムに添付ファイルを含めたメールを保存し、高速検索で運用負荷を軽減する「m-FILTER Archive」、業界最高水準の検知率であるCloudmark社スパムエンジンによりスパムメールを徹底排除する「m-FILTER Anti-Spam」の3つの機能を提供します。これらの3つの機能から解決したい課題に合わせ機能を選択し、柔軟な組み合わせで導入いただくことも、3つの機能全てを導入いただくことも可能です。

■ デジタルアーツについて <http://www.daj.jp>

デジタルアーツは、フィルタリング技術を核に、情報セキュリティ事業を展開する企業です。製品の企画・開発・販売・サポートまでを一貫して行い、国産初の Web フィルタリングソフトを市場に出したメーカーならではの付加価値を提供しています。また、フィルタリング製品の根幹を支える国内最大級の Web フィルタリングデータベースと、世界 27 の国と地域で特許を取得した技術力が高く評価されています。国内でトップシェアを誇る Web フィルタリングソフトとして、家庭及び個人向け「i-フィルター」・企業向け「i-FILTER」「i-FILTER ブラウザー & クラウド」を提供する他、企業向けとしてゲートウェイ型電子メールセキュリティソフト「m-FILTER」、クライアント型電子メール誤送信防止ソフト「m-FILTER MailAdviser」、セキュア・プロキシ・アプライアンス製品「D-SPA」、ファイル暗号化・追跡ソリューション「FinalCode」を提供しています。

※ デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、info board、ARS、ActiveRatingSystem、ACTIVE RATING、ZBRAIN、D-SPA、SP-Cache、NET FILTER、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER File Scan、当社・当社製品関連の各種ロゴ・アイコンはデジタルアーツ株式会社の商標又は登録商標です。FinalCode はデジタルアーツグループの登録商標です。

※ その他、本書に記載されている各社の社名、製品名、サービス名およびロゴ等は、各社の商標または登録商標です。
